

教科名	数学	科目名	数学Ⅱ	学年	2年	単位数	3
教科書	新編 数学Ⅱ		副教材	新課程 Study-Up ノート数学Ⅱ 新課程 基本と演習テーマ数学Ⅱ+B			

1 科目の目標

図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、微分法と積分法について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

2 学習について

①授業の持ち物について：教科書、問題集、ノート

②予習の仕方について：前もって、次回授業の教科書2頁程度を読んでおきましょう。

③授業の受け方について

<授業では、授業内容が「わかる」ことを心がけましょう。>

ア 授業は集中し、先生の説明をよく聞いて、板書を早くノートに正確に写すことを心がけましょう。

イ 教科書の練習問題は、自分の力で解くように心がけましょう。また、先生の解答で必ず答え合わせをして、理解できた点とそうでない点を明確にしましょう。

④家庭学習の仕方について

<家庭学習では、「わかる」から「できる」にまで理解を深めることを心がけましょう。>

ア 授業で習った箇所の教科書を読み返してみよう。その際、公式や重要事項等は、もう一度ノートに書き写してみよう。

イ 宿題（問題集）は、出された当日に必ず自分の力で解いて答え合わせをしておくようにしよう。

ウ 宿題（週末課題）は、週末土日課題ですので必ず自分で解いて答え合わせをして週明けの最初の授業に提出しよう。

3 学習計画

考査		単元名（学習項目）	学習内容（ねらい）
前期	前期 中間	図形と方程式	座標や式を用いて直線や円などの基本的な平面図形の性質や関係を数学的に考察し処理するとともに、その有用性を認識し、いろいろな図形の考察に活用できるようにする。
	前期 期末	三角関数	三角関数について理解し、関数についての理解を深めそれらを具体的な事象の考察に活用できるようにする。
後期	後期 中間	指数関数と対数関数	指数関数および対数関数について理解し、関数についての理解を深めそれらを具体的な事象の考察に活用できるようにする。
	学年 末	微分法と積分法	具体的な事象の考察を通して微分・積分の考えを理解し、それを用いて関数の値の変化を調べることや面積を求めることができるようにする。

4 観点別評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。	数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察することができる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。

5 評価方法

計105時間（50分授業）

上記の観点を踏まえ、定期考査・課題考査・授業内小テストの成績、単元ごとのパフォーマンス課題、宿題などの提出された課題、学習態度等を以下の割合で総合的に評価する。

知識・技能…50% 思考・判断・表現…30% 主体的に学習に取り組む態度…20%

